

せりたより

＝行＝
芹田地区
住民自治協議会

東西南北 悪魔を払って めでたいナ

12月31日に
川合聖田神社の
二年参りで
奉納舞披露



川合新田のお獅子がピッカになりました

皆さま、明けましておめでとうございます。今年も「自治」を考えたつ、身近なご近所話をお届けしていきます(感想等うれしく拝見しています。ありがたございませう)。新年初号は川合新田の神楽保存会「壱和会」のお獅子のお話です。約70年前には存在が記録されている川

what's 壱和会

「川合聖田神社」の神楽は江戸時代から受け継がれてきましたが、昭和60年代後半に後継者不足で一度、存続が危ぶまれました。しかし地域の有志が集まり、口伝だった獅子舞や神楽演奏などを先輩から聞き取り、隣区(日詰神社神楽保存会)の協力も得て平成2年(1990年)に「壱和会」を結成。川合新田の神楽を復活させました。当初は秋祭りで「(神社への)奉納舞い」が活動のメインでしたが、徐々に「村舞(=家々を回って舞う)」や、二年参り、獅子舞フェスティバルなど幅を広げて今日に至ります。
※現在の会員は60代を中心に13名



合新田の神楽ですが、その獅子の頭は塗りが剥がれたり左眼が取れたり、顎や舌など至る所に経年劣化が起き、幌(舞い手が被る大きな布)も穴や破れなどで損傷が激しくなっていました。しかしこれらの修繕・新調が昨年(令和7年)、地域文化財の保護・活用につながる文化庁の補助金事業に採択され、修理と新調が行われました。

お獅子修復の補助金申請をした 区長に聞く



Q. 補助金申請の経緯

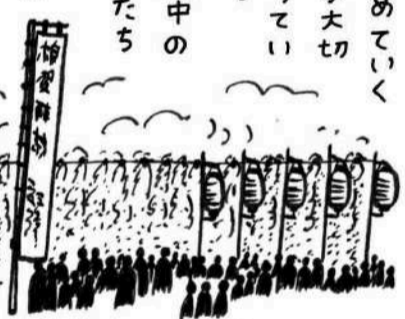
困っていたところ、住民自治協会の夏目さん(会計)に「いいのがあるよ」と教えてもらい申請しました。書類がまろく複雑で(笑)メールも「圧縮ファイル」なんてものを使わなきゃいけなくて本当に四苦八苦しながらやりました。でも70年代から始まった川合新田の歴史(※川合新田のホームページに掲載中)をあらためて学ぶ機会にもなっておもしろいですよ。あくわくしました。

Q. 地区の伝統行事に思うこと

私は、孤独死・防犯・防災などのあらゆる面で、地区内で絆を深めることが大切だと考えています。うちの区は約800世帯(約4000人)が暮らしていて、秋祭りは住民の約1割(400〜500人)が参加しているんですが、こういうことで貴重ですよ。夏祭りでも運動会でも、みんなが参加すれば何だ、いいんです。うちは「班」が108あるので、その中で回覧板を持って「こんにちわ」でもいい。とにかく顔を合わせて、声をかけ合って、絆を深めていくことが大切だと思います。

Q. 区長をがんばる理由

最初は前区長の水野さんがお隣だった縁で声がけいただきました。出身は諏訪市なんですけど、30数年ここに住んで、娘たちも履縫中にお世話になって、出張の帰り道に大橋を渡ると「あ、帰ってきたな」としみじみ思えます。そろそろ地区へ恩返しすべきと思っ



秋祭り・神楽の宮入り(参道に花火のナイアガラ)



★... 芹田の支所・住民自治協議会事務所・公民館



毎月一回、第2土曜日の19時から、川合聖田神社社務所で練習されています。集まれる人が来て、お獅子の準備をし、笛や太鼓などの鳴り物と獅子舞を一通り練習した後(たしなむ程度に)お酒を飲んで解散するとか。子供も女性も入会大歓迎で、練習の時間帯が不在でした。



響場さん(76) 歴32〜33年

昔は壱和会おそろいのユニフォームを作って長野マラソンに出たりもしたんだよ



小池さん(62) 歴2年

祭事部で聞かれました



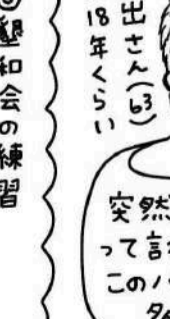
成澤さん(61) 歴3年

8年前に西風間神社で披露した川合新田流の「本舞狂獅子」をYouTubeに載せているよ



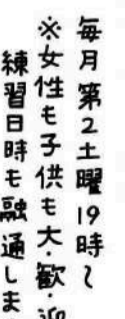
小出さん(63) 歴18年くらい

突然「入れ」って言われて(笑)このパターンもタラいです



現副区長 下田さん(63) 歴2年

想像以上にむずかしくておもしろかった!!



鼻血がにじむくらい練習したネエ(笑)



壱和会の練習
毎月第2土曜19時
※女性も子供も大歓迎
練習日時も融通します
場所: 川合聖田神社社務所
年会費: なし(衣装と飲食費は実費)
入会希望は川合新田HPの「問い合わせ」へ、
追って連絡先をお伝えします。

消防団は「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、その地域の人が「非常勤特別職の地方公務員」として、火災や自然災害の予防・消防活動を行っている団体です。長野市には63の消防団があり、茅田地区と中御所エリアでは、「第5分団」に所属するご近所さんたちが活動しています。メンバーは

20代から60代の、現役大学生、女性団員、会社員、経営者、などなど。年齢も立場もさまざまな24名で、他の分団から「楽しそったね」と言われるほど、和気あいあいとした雰囲気です。

第5分団に会うには
茅田小学校の行事「セリッコフェスタ」※親子で放水体験も
消防団の「出初め式」1月10日開催。8時30分に城山公園出発。
毎月7日
管内を小さな消防車と徒歩で拍子木を鳴らしながら巡回中
5月・7月・11月の各種訓練会場

火風水地

自然災害から茅田を守る

長野市 第5分団



毎晩9時は火の元点検
毎月7日は火の用心!!

消防団の見学・入団の相談はお近くの区長さんか、長野市消防局警防課(026-227-8002)へ!

たとえば火災が起きたとき、消防署の隊員は消火活動はするけれど、鎮火した次の出勤に備えて署に戻るんです。でも鎮火した数時間後、数日後にちょっとした火種が再燃して…なんてこともよくあるんですよ。そういうことを防ぐために、鎮火後数日間には消防団が見守りを行っています。

消防団の正装
半纏(出勤服は作業着)昔は刺し子の半纏が
出動服で、丈夫だけれども重かったとか



分団長の「赤スジ半纏」※役員はさらに一本線が多い
管内の緊急連絡を発信できる無線機



茅田小の北東にある詰め所兼器具置き場

分団長 深澤茂樹さん(61)
川合新田在住(約51年間)
消防団歴34年
分団長歴2年(二期2年制)
入団のきっかけ
当時引退する分団長が川合新田在住で、「川合新田に消防団員がいなくなるから、息子も入れさせるからおめえと一緒にどうだい?」と誘われた

次世代地域交通システム 検討委員会とは?



栗田 青木 さん(80) 委員長
茅田地区では「地域たすけあい事業」の一環で「福祉自動車」というものを運行しているのですが、その今後について議論する中で「地域の公共交通の在り方をより総合的に考えていくべき」となり立ち上げた委員会です。

最初は有志6~7人で勉強会を行っていたのですが、2023年5月に「委員会」として役員会の正式承認を得ました。翌年、茅田の全12,657世帯を対象にした「交通に関するお困り度」アンケートを行い、2,654世帯から回答をいただきました。地区ごとのおおまかな傾向やニーズは把握でき、この結果を踏まえて、あらためて情報収集等した上で、我が茅田地区にマッチしていると考え現地視察したのが茅野市で実施されている「のらざあ」というオンデマンド交通システム

わたしたちの かんがえる 地域交通を これからの

私たちが住む茅田地区は、さまざまな面で長野市内でも利便性の良い地域の一つです。しかし高齢などの理由で車を手放したり、諸事情でバスが減便・廃線になった場合、雨や氷道や異常な夏の暑さの下で自転車や徒歩で日常生活(通院、買い物など)を送ることはとても大変。実情として、高齢者(70歳以上)を含む世帯が全体の47.4%を占める(※)茅田地区でも

遠くない未来にそんな日が近づいてきているのでは?という危機感から「次世代地域交通システム検討委員会」が約3年前から動き出し、全国各地の事例を検証したり、現地視察を行ったりして茅田の地域交通の今後を考えています。

(※)茅田地区全世帯を対象にした「交通に関するお困り度アンケート(2023年実施)」の集計結果。回答率は21%

10月29(水) 役員研修 参加者14名で茅野市の地域交通システムを見に行ってきました

人口・世帯数が茅田地区の約2倍
検討から約2年で運用実現



「出発の場所・時間」「目的地」を予約するとAIが最適ルートと利用者同士の乗合いを調整して運行してくれる。(運転は人間)

- 停留所**
仮想停留所2,000ヶ所
※人口の内96.8%の人が自宅から300m以内に停留所がある(停留所看板は不要)
- 予約方法**
ネットまたは電話
※相乗りタクシー的なイメージ
- 利用料**
距離によって300円~最大700円
※高齢者・障害者・子供への各種割引あり
- 支払い方法**
・現金
・クレジットカード
・回数券

ムです。委員会では今後、当面はこのシステムを対象に実現可能性の検討を深めていく予定です。

アンケート結果は住自協HPの「住自協刊行物」ページから見られます